

社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 平成 22 年度第 3 回 議事録

担当 仙頭紀明（幹事）

日時	平成 22 年 9 月 15 日（水）14:00～16:00					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	高橋 邦夫	○	理事	安福 規之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	○	部員	岸田 潔	☆
部員	坂元 耕三	×	部員	豊田 浩史	×	部員	西岡 英俊	○
部員	畠山 正則	×	部員	平井 貴雄	○	部員	利藤 房男	×
オブザーバー	土屋 彰義	×						

★：H20 年度新任      ○：出席予定      ☆：出席（電子会議）      ◎：代理出席      ×：欠席予定      △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-22.3.0	平成 22 年度 第 2 回基準部会議事録案
資料-22.3.1	ISO国際会議等出張計画－欧州連合「土壌・気候変動・生物多様性」
資料-22.3.2	ISO国際会議等出張計画－第74回IEC総会
資料-22.3.3	標準キーワード廃止の周知に関する資料
資料-22.3.4	理事会報告資料 [7/23議事録案]
資料-22.3.5	地盤工学表記法委員会報告資料 [9月6日議事録案]
資料-22.3.6	室内試験規格・基準委員会報告資料 [7月21日議事録]
資料-22.3.7	平成 22 年度社会環境整備・産業競争力強化型規格開発事業（個別産業技術分野に関する標準化：テーマ名 地盤化学汚染のスクリーニング方法に関する国際標準開発）に関する委託契約書
資料-22.3.8	
資料-22.3.9	
資料-22.3.10	
別添資料－1	平成 23 年度の予算および活動計画作成に関する資料（7月開催理事会より抜粋）

## 審議事項

### 1. 前回議事録の確認

(資料-22.3.0)

議事録を承認した。

### 2. 全体関係

(1) 日下部会長からの提案（継続審議）

#### ① JGS 基準の JIS 化の促進

趣旨：ISO 等の活動をする場合、JIS 化促進が必要であること。

基準の維持管理費用の軽減対策。

JIS 化できないようなマニアックな JGS 基準作成への歯止め。

#### ② 基礎設計・施工基準の促進

・協会レベル、民間会社作成の基準を、学会が認定する活動を促進する。特に地盤改良、杭施工、地質調査関係の協会を調べ、可能性を検討する。外部資金獲得、関連協会との連携促進にも寄与しうる。

#### ③ ISO 活動への資金獲得

・国、企業団体等に ISO 活動の重要性を訴え、財政的支援をうる努力をする。会長名での依頼状を作成・配布する。依頼状には、建設業の海外展開等の視点からの ISO 活動の必要性、地盤工学会の実績等、他の産業、例えば建設機械分野の ISO 活動との比較等を記載。

#### ④ CEN のアジア版組織の構想

・政治家への働きかけとして、実行可能な構想を提示。

②については、地盤設計・施工基準委員会でこれまで学会の基準認定にかかわる受託実績（SCP、地山補強土等）を簡単にまとめておくこととする。③の ISO 活動については、活動を維持するための資金を獲得するための枠組みについて検討を始める。まず、安福理事と大谷 ISO 委員長で意見交換を行うこととする。

どの問題もすぐに結論は得ることは難しいので、継続して議論を実施する。具体的には毎回上記の中から、一つテーマを決めて重点的に議論するものとする。

(2) 平成 23 年度の予算および活動計画について

(別添資料-1)

10 月中旬に事務局から予算と活動計画のファイルが各常設委員会に送付される。例年と同様に各委員会で活動内容と予算を取りまとめて、事務局に提出する（提出期限は後日事務局より連絡）。

### 3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

特になし。

(2) 地盤調査規格・基準委員会 メール審議済 (①～③)

#### ①WG10 メンバーの追加

(1) 太田 英将 氏（有） 太田ジオリサーチ

理由：ワーキング 10 設置に伴い、ワーキングの太田幹事に地盤調査規格・基準委員会の委員を担当していただき、委員会とワーキングの意思疎通を図りたい。

(2) 大野 博之 氏（株）環境地質

(3) 森 啓年 氏（独）土木研究所

理由：基準・解説の執筆に必要な人材を追加したい。

#### ②WG10 交代

(1) 岩崎 公俊 メンバー（基礎地盤コンサルタンツ）→若林 裕一郎 氏（同）

理由：会社内部の都合により変更したい。

#### ③WG7 交代

(1) 重田 佳幸 メンバー（株）ダイヤコンサルタント→太田 雅之 氏（同）

理由：会社内部の都合により変更したい。

#### ④WG4 追加

(1) 平田 茂良 氏（大和ハウス工業（株）総合技術研究所）

理由：建築分野の動的コーンの基準の見直し、解説の執筆に必要なため。

(2) 松岡 達也 氏（東亜建設工業（株）技術研究開発センター）

理由：原位置ベーンせん断試験の基準の見直し，解説の執筆に必要なため。

④について委員の追加を承認した。

### (3) ISO 国内委員会

#### ①TC190 国内専門委員会の交代

#### ②TC190/SC3/WG10 運営 WG の交代

退任：足立晃一 氏（環境省 水・大気環境局土壌環境課）

着任：根木桂三 氏（同 所）

理由：省内での移動のため

委員の交代を承認した。

#### ③TC190 国内専門委員会の追加 **メール審議済**

候補：鈴木 義浩 氏（柴田科学開発部大気水質課・課長）

理由：テスト・キットによる地盤中の有害イオンのスクリーニングの ISO 化（土壌向け無機イオンのテスト・キット検出法）にあたり、この分野での専門家が必要となった。同氏は、この分野で、長年にわたり、水質向けの簡易分析用テスト・キットの開発に関与されてこられ、さまざまな経験を有しており、委員として適任であると考え。

### (4) 地盤設計・施工基準検討委員会

#### ①WG3：グラウンドアンカー／委員の追加

候補：藤原 優 氏（NEXCO 総研道路研究部土工研究室）

理由：「JGS 4101-2000 グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説」

改訂版の執筆にあたり、本分野の専門家の追加が必要なため

委員の追加を承認した。

### (5) 表記法検討委員会

特になし。

### (6) 基準部員の交代

・関野 武志 部員（経済産業省産業技術環境局）→坂元 耕三 氏（同）

理由：関野部員が異動のため

部員の交代を承認した。

## 4. ISO 国内委員会 関係

### (1) 委託業務

(資料-22.3.7)

#### ①平成 22 年度社会環境整備・産業競争力強化型規格開発事業

個別産業技術分野に関する標準化：

テーマ名 地盤化学汚染のスクリーニング方法に関する国際標準開発)

・契約期間：平成 22 年 5 月 17 日～平成 23 年 3 月 1 日

・委託金額：3,200,000 円

・納入物：成果報告書 電子媒体 (CD-ROM) 1 部

上記業務の受託を承認した。

### (2) 国際会議派遣 ①及び②は **メール審議済**

#### ①会議名：ISO/TC221 総会・WG

・出張者：大谷 順 (TC221 国内専門委員会 WG3 主査，ISO 国内委員会委員長)，  
宮田喜壽 (TC221 国内専門委員会 幹事，ISO 国内委員会幹事)

・派遣先：英国・ロンドン

・期間：大谷 順：2010 年 10 月 9 日～16 日，宮田喜壽：2010 年 10 月 10 日～15 日

・理由：ISO/TC221 の総会が開催される。会議では，WG1 (CEN/TC189 との連絡)，WG2 (用語，判別およびサンプリング)，WG3 (力学的特性)，WG4 (水理学特性)，WG5 (耐久性) における審議事項の投票および既に受付を終了した電子投票結果の確認が行われる。また総会前日には，WG2 と WG5 の WG 会議が同時開催される。一連の審議に，わが国の実情を反映させるとともに，わが国の試験法整備に国際の最新情報を反映させるために 2 名の派遣が必要である。

・費用：経費：ISO 活動費，規格協会 (半額補助，申請中)

会議への委員の派遣については，規格協会の費用助成を積極的に活用することとする。なお申請手続きに関する情報を，ISO 委員会委員長および幹事に事務局より伝達する。

②会議名：ISO/TC190 総会

- ・出張者：（１）坂井宏行委員（ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー），  
（２）野上太郎委員，  
（３）今井一成委員，  
（４）藤田毅委員，  
（５）肴倉宏史委員，  
（６）中森泰三委員，  
（７）中島誠委員，  
（８）王寧委員
- ・派遣先：ポーランド・プラヴィ
- ・期間：2010年10月3日～9日
- ・理由：年1回開催されるTC190の総会で、今年は25回目となる。我が国が convener を務めるSC3/WG10等、SCおよびWGの会議が約30平行開催され、総会では審議事項の投票および既に受付を終了した電子投票結果の確認が行われる。一連の審議に、わが国の実情を反映させるとともに、わが国の試験法整備に国際の最新情報を反映させるために委員の派遣が必要である。
- ・費用：坂井委員：経済産業省 重点TC等国際会議派遣委託事業費  
野上委員，今井委員，藤田委員：地盤工学会 経済産業省受託事業費  
肴倉委員，中森委員：地盤工学会 ISO対応活動費、規格協会（半額補助，申請中）  
中島委員，王委員：土壌環境センター負担

③会議名：欧州連合「土壌・気候変動・生物多様性」

- ・出張者：坂井委員（ISO/TC 190/SC 3/WG 10Convener），野上委員
- ・派遣先：ベルギー・ブリュッセル
- ・期間：平成22年9月22日から26日
- ・理由：添付資料参照 **(資料-22.3.1)**
- ・費用：経済産業省  
委員の派遣を承認した。

④会議名：第74回IEC総会出席

- ・派遣先：合衆国・シアトル派遣者：野上委員
- ・期間：平成22年10月8日から14日
- ・理由：添付資料参照 **(資料-22.3.2)**
- ・費用：経済産業省  
委員の派遣を承認した。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

- (1) 標準キーワード廃止の周知について **(資料-22.3.3)**  
標準キーワード廃止を周知するため、学会誌に会告を掲載することを承認した。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

特になし。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし。

9. 販売促進 WG

特になし。

10. 基準部所管刊行物

特になし。

11. その他

特になし。

報告事項

1. 理事会（7月23日）開催報告

（資料-22.3.4）

基準部関連事項について高橋部長より報告があった。

2. 全体関係

特になし。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 22 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

経済産業省からの受託（320 万円）の契約手続きが完了した。

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	×				
・三菱総合研究所（回答作成）	60 万円		○		
・三菱総合研究所（重点TC旅費）	175 万円				
・経済産業省		320 万円	○		
小計	235 万円	320 万円			
合計	555 万円				

(2) 地盤工学表記法委員会

① H22 第 2 回委員会（9 月 6 日開催）報告

（資料-22.3.5）

第 2 回委員会議事録をもとに活動報告があった。（用語の JIS 化、「試料の乱れ」他）

(3) 室内試験規格・基準委員会

① H22 第 1 回委員会（7 月 21 日開催）報告

（資料-22.3.6）

第 1 回委員会議事録をもとに活動報告があった。（土質柱状図模様の不整合，JIS 対応，岩石の繰返し強度試験方法基準化 WG 設立，英文 HP 対応他）

(4) 地盤調査規格・基準委員会

特になし。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進 WG

特になし。

4. 日本工業標準調査会 土木部会

特になし。

●H22 年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日，太字は次回開催日
基準部会	高橋 邦夫	4/12, 6/18
ISO 国内委員会	大谷 順	6/17
・WG1 ISO/TC182 対応	(代行：木幡)	6/17
・WG2 ISO/TC190 対応	平田 健正	4/27 幹事会， 5/31 幹事会
TC190/SC3/WG10 対応 WG	(坂井宏行)	4/15, 4/26 打合， 5/14, 6/ 2, 6/30, 9/29, 10/22
・WG3 ISO/TC221 対応	三木 博史	
室内試験規格・基準委員会	古関 潤一	7/21, <b>10/22</b>
・WG1 物理特性	(細野高康)	
・WG2 化学特性	(太田岳洋)	
・WG3 透水・圧密特性	(藤原照幸)	
・WG4 力学特性	(仙頭紀明)	
・WG5 安定化・締固め特性	(高木宗男)	
・WG6 ジオシンセティックス	(椋木俊文)	
・WG7 ベンダーエレメント試験基準化	山下 聡	6/23
・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG	安川 郁夫	
・WG12 動的試験基準検討 WG	伊藤 洋	

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層（第3編） ・WG2 ボーリング・サンプリング（第4,5編） ・WG3 地下水（第7編） ・WG4 サウンディング（第6編） ・WG5 載荷試験（第8編） ・WG6 現場密度試験（第9編） ・WG7 現地計測（第10編） ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング（第11編） ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査（第1,2編） ・WG10 地盤環境調査（第12編） ・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正 ・WG12 貫入式地盤硬度計基準化	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝 藤井 衛 北村 良介	5/11, <b>9/28</b> 6/23, <b>10/26</b> 6/ 3, <b>9/21</b> 5/21, 7/ 8, <b>9/22</b> 5/28, 6/11 打合, 7/26, <b>10/18</b> 5/ 6, 6/ 4, 8/ 6, 9/14 5/14, 7/23, 9/10, <b>10/22</b> 6/21, <b>10/13</b> 5/11, 7/13, <b>9/21</b> 5/24, 9/14, <b>1/ 7</b>
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	5/18 幹事会, 7/27
地盤工学表記法 ・WG1 用語および用語の定義 ・WG2 データシートおよび情報化	岸田 隆夫 岸田 隆夫 (鈴木明夫)	9/ 6, <b>11/1</b>

## 5. その他

- 1) 理事会（平成22年 9月24日（金）開催予定）への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成22年 9月17日（金）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日

- ・ 22年度第4回：平成22年11月16日（火）14:00時～  
（対応理事会 H22. 11.26 or 1.28）
- ・ 22年度第5回：平成23年 1月 日（ ）14:00時～  
（対応理事会 H23. 1.28 or 3.18）
- ・ 22年度第6回：平成23年 3月 日（ ）14:00時～  
（対応理事会 H23. 3.18 or 4.22）

☆ 平成22年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

○ 運営連絡会議

① 4月23日（金）

② 5月14日（金）

③ 5月27日（木）総会/理事会

① 6月25日（金）

④ 7月23日（金）

⑤ 9月24日（金）

② 10月22日（金）

⑥ 11月28日（金）

③ 12月24日（金）

⑦ 1月28日（金）

⑧ 3月18日（金）

④ 2月25日（金）

⑨ 4月22日（金）

-----  
⑩ 5月13日（金）

⑪ 5月30日（月）総会/理事会